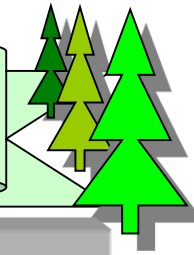


街路樹



「所長挨拶」

本年度より、「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」がはじまりました。各学校で期首面談を実施しているところかと思いますが、その目指すところは「教員が学校管理職と対話し、自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力などを踏まえ、必要な学び(研修)を主体的に行い、資質の向上を図ること」にあります。益々変化する社会に生きる児童生徒の、学びの充実や、児童生徒理解を進めるため、積極的に研修に参加され、キャリアアップを図っていただきたいと思っております。

教職員研修においては、「新たな教師の学びの姿」の実現に向け、精選しました。研修内容を焦点化することで、1日研修から半日研修に切り替えたり、研修時間を短縮したりしました。ABCシートに基づいた授業改善に関わる教科研修・児童生徒の自己有用感に関する生徒指導研修等を進めることにより、指導訪問や校内研修と関連を深めてまいります。調査研究委員会では、校内研修に役立つ授業動画や資料を作成していきますので、校内研修では是非ご活用ください。

教育支援室の事業においては、「学校の相談・支援体制構築への支援」「地域資源のつながりを生かした支援」「特別支援学級等担当教員の指導力向上」を重点として取り組んでいきます。ご相談があれば、管理職を通してご連絡ください。

今年度も本センターのホームページで、「研修の様子」「研修情報」「街路樹」等をアップしていきますので、ぜひご覧ください。さらに、各種様式、体験型経済教育施設Elemの資料、調査研究委員会の資料は、ホームページ及び教職員パソコンの「Kドライブ」からダウンロードできますので、ご活用ください。所員一同、先生方のニーズに応え、いわき子どもたちが未来を拓いていくことを支えてまいります。今年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

「今年度の研修調査室の目玉について」

令和の日本型教育における「新たな教師の学びの姿」を目指し、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励のもと、私たち教師一人一人が主体的に研修に取り組むことが求められます。自身の強みを生かし、弱みを克服できるよう、是非、総合教育センターの研修を活用し、専門性に磨きをかけていただければと思います。今年度の研修は、次の点を目玉に研修を実施してまいります。

- 1 基本研修における教科指導研修の充実
 - 2 各種の指導力の向上を図る専門研修の充実
教科研修(授業力向上講座)をはじめ、特別支援教育研修や生徒指導研修、情報教育研修に係る講座を充実させていきます。
 - (1) 授業力向上講座の開催
※講座Ⅲ小・中理科を国語、算数・数学に加え実施
 - (2) 生徒指導研修における不登校対策講座(前期・後期)の連続講座の開催
 - (3) 児童生徒理解教育講座、学校教育相談講座の毎年開催(隔年開催から)
 - 3 調査研究委員会の活動の充実
昨年度の成果と課題を踏まえ、実践研究を進めていきます。また、授業改善のポイントを明確にした校内研修へ活用できる研修動画も作成の予定です。
 - 4 大学等の外部講師による専門的な研修
 - 5 働き方改革と研修の質の担保の両立
夏の専門研修においても、研修者が参加しやすいよう1日から半日講座に変更した講座があります。
例)発達障がい教育講座、いじめ防止対策講座、児童生徒理解教育講座、学校教育相談講座など
また、研修時間を原則として、
午前：9時30分～12時00分
午後：14時00分～16時30分
としています。なお、例外となる研修もありますので、研修の申し込みの際には、十分にご確認願います。
- 皆さんの積極的な研修への参加をお待ちしております。

「教育支援室の活用について」

教育支援室では、今年度から特別支援教育アドバイザーを2名に増員し、特別支援教育、教育相談、不登校対策、家庭支援の4つの業務の充実を図るとともに、次の3つの重点事項に取り組めます。

1 学校の相談・支援体制構築に向けた支援の充実

学校現場からは、担任と児童生徒、保護者との関係づくりや、具体的な指導・支援方法に関する相談が多く寄せられています。これらの多様なニーズに応えるため、特別支援教育アドバイザー、教育相談部、スクールカウンセラー、こころの支援アドバイザー、スクールソーシャルワーカー等と連携し、学校や保護者の要請に応じて訪問等を行い、継続的で丁寧な相談・支援体制が構築できるよう支援します。

2 地域資源のつながりを生かした支援の充実

児童生徒の様々な課題に対して、どの場面で、どの関係機関とつながればよいか、要請に応じて課題や事案に沿ったケース会議等を行い、学校と地域の関係機関との連携を支援します。昨年度は、貧困等の理由から福祉機関との連携が多く見られたことから、ケースに応じて学校とともに早期対応を図ります。

3 特別支援学級等担当教員への支援の充実

特別支援学級等を初めて担当する教員や経験が少ない教員への継続的な支援は喫緊の課題です。今年度も、サポート訪問等により、児童生徒の見立てや支援方法等について担当教員と話し合い、スキルアップを図ります。また、必要に応じて特別支援学校、関係機関と連携し、子どもたちが毎日いきいきと学校生活を送るための環境作りを支援します。

近年では、個に応じた支援や医療的ケア、居住地校交流等の様々なニーズの高まりにより、相談や支援の内容が多様化、深刻化し、各学校の相談・支援機能の充実がさらに求められております。支援を要する児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育の実現のため、今年度もぜひ教育支援室をご活用ください。